

### 30. カナガシラ 金頭(かながしら・きんと)



#### ◇撮影後のコメント◇

一度、姿がとてもよく似ている「ホウボウ」と食べ比べをしてみたいが、実現できていない。それでどちらが美味しいのか結論を出したいのではなく、どちらがどっちか混乱してみたいのが目的である。つまり、どちらも美味しいの結論に辿り着きたい。背の部分の頭から尾にかけて幅5ミリ程の殻状の固い部分がある。祖先に何があったのか？

学術的分類によると、カサゴ目ホウボウ科カナガシラ属に内包される。これによく似たホウボウは、同目同科ホウボウ属に内包される。胸鰭が胴体の色と同色のイメージなのがカナガシラで、エメラルドグリーンなのがホウボウである。検索してみてね。以前釣れた(釣ったのではなく)のはそのどちらであるか記憶は定かではないし、何処でどの様に釣れたのかも忘れてしまった。ただ、それをブツ切りにし味噌汁にしたのは、記憶している。美味であった。その身の味は、濃く、皮と身の間のゼラチン質が皮を含めまた好いのである。頭の身をほじくってみるも、僅かにホホ肉があるのみで、骨頭と言っても過言ではない。味覚の焦点が胴体に向けられる。鉄頭と表記する例も見当たる所以である。

似非釣り情報：カナガシラは限られたポイントでのみ釣果あり。ホウボウは、数は不明であるが、あちらこちらで釣れるらしい。それがその命名の由来であろうはずがない。